



経営計画入力

[操作時の注意事項](#)

経営計画の記入例をご確認ください

※最大10,000文字程度（≈Wordファイル8枚（文字サイズ10.5、写真・表の挿入あり））としてください。

1.企業概要

1-1.自社の概要 必須

見出し3 ▼ B I ① 二 二 △ △ A A 三 三 四 四 ■ ■ ↶ ↷

【概要】

当店は、2017年に創業し、こだわりの珈琲豆を丁寧に焙煎して販売している。
地域住民や若い世代のお客様が多く、「他の珈琲店では味わえない」と好評をいただいている。

【立地場所】

最寄り駅から徒歩30分、高速ICも近くはないが、口コミにより、地域外からの来客数も年々増加している。
開店当初は地域内ののみの客層だったが、現在では全体の約2割が地域外からの来店となっている。

【主な商品】

- ①コーヒー豆(550円~/100g) 粗利率約50%
- ②コーヒーバッグ(140円~/1個) 粗利率約60%
- ③贈答用セット商品(990円~/15,000円/個) 粗利率約30~40%
- ④コーヒーグッズ(790円~/5,900円/個) 粗利率約30~35%

1-2.現在の売上・利益の状況 必須

見出し3 ▼ B I ① 二 二 △ △ A A 三 三 四 四 ■ ■ ↶ ↷

【売上状況】

- 事業別の売上等

(単位:千円)

事業	メニュー	売上高	売上総利益	売上シェア	客単価
(1)店舗事業	・コーヒー豆の販売 ・コーヒー豆加工品の販売 ・贈答用セット商品の販売	6,000	3,000	62.6%	約2,000円
(2)オンライン事業	・コーヒー豆の販売 ・コーヒー豆加工品の販売 ・贈答用セット商品の販売	3,580	1,560	37.4%	約3,000円

- 各商品の売上等

	売上総額の大きい商品	利益総額の大きい商品	
1位	コーヒー豆	320万円	コーヒーバッグ
2位	コーヒーバッグ	300万円	コーヒー豆
3位	贈答用セット商品	230万円	贈答用セット商品

1日あたり、〇名程度の来客であるが、週末になると〇名程度にお客が増える。あわせて、オンラインでも注文が入り、週平均で〇〇円程度の売り上げがある。また、歳末セールなどのイベント時には、〇名以上が来客する。

1-3.経営課題 必須

段落 ▼ B I ① 二 二 △ △ A A 三 三 四 四 ■ ■ ↶ ↷

現在1人の従業員と1人のアルバイトを雇用し、3名体制で来客対応やオンラインでの注文受付、梱包作業、発送作業などを行っている。そのため、今後来客数や売上げを伸ばすにあたり、人員の確保が必要となる。また、新型コロナウイルスの影響による営業自粛から立ち直るため、2つの銀行から〇〇円の借入れがあり、毎月●円の返済をしている。雇用を増やすにしても人件費が貯まらないため、販路開拓等による売り上げの確保が急務である。

2.顧客ニーズと市場の動向

2-1.市場の動向 必須

段落 ▼ B I ① 二 二 △ △ A A 三 三 四 四 ■ ■ ↶ ↷

<コーヒー市場全体について>

- ①日本におけるコーヒーの消費量は増加傾向にあると判断できる。（出典：〇〇）
- ②コーヒー消費量のうち、インスタントコーヒー、レギュラーコーヒー、その他（缶コーヒー等）を比較すると、従来はインスタントコーヒーの需要が高かったが、年々レギュラーコーヒーの比率が高まっている。
- ③昨今ではコンビニコーヒーの消費が増えており、当店のコーヒーは手間暇かけたこだわりのコーヒーが売りのため、コンビニのコーヒーとは市場が異なると考えられる。

2-2.顧客ニーズ 必須

見出し3 ▼ B I ① 二 二 △ △ A A 三 三 四 四 ■ ■ ↶ ↷

【店舗事業】

2023年売上高ベースの顧客の居住地を分類すると、近隣のA市、B市、C町で約9割を占める。

A市:

- ⇒店舗事業において、80%以上がA市に居住する顧客である。
- ⇒人口に対する顧客数の割合は、約0.4%である。

B市:

- ⇒店舗事業において、B市に居住する顧客の割合は、わずか6%に留まる。
- ⇒人口に対する顧客数の割合は、約0.03%と非常に少ない。

C町:

- ⇒店舗事業において、C町に居住する顧客の割合は、わずか4%に留まる。
- ⇒人口に対する顧客数の割合は、約0.06%と少ない。

以上により、B市、C町での当店の認知度はまだ低く、今後販路拡大の余地がある地域と言える。

<店舗事業での購入品の特徴>

- ・コーヒー豆とコーヒーバッグの売上だけで、60%を構成している。
- ・暑い時期になるとコーヒー豆とコーヒーバッグの売上構成比率が下がるが、代わりに水出しコーヒーの売上構成比率が上がるため、全体としての営業利益は低くなる。
- ・贈答用セット商品が売上構成比の30%を占めている。
- ・贈答用セット商品は単価が高く、営業利益率も比較的高いため、店舗事業において重要である。

【オンライン事業】

90%以上が県外からの注文であるため、県外から多くの需要があることがわかる。

<オンライン事業での購入品の特徴>

- ・贈答用セット商品の売上構成比はわずか10%であり、店舗事業と比較すると非常に低い。
- ・贈答用セット商品は単価が高く、営業利益率も比較的高いため、オンライン事業において重要。
- ・オンライン事業における贈答用セット商品の単価は5,000円である。

3.自社や自社の提供する商品・サービスの強み

3-1.自社の強み 必須

見出しを選択 ▼ | B I ① 二二 三三 | △ ▲ ≡ ≡ | □ “” ■■ ↶ ↷

- 顧客第一のサービス

日々のお客様からの意見やニーズを反映させるよう、商品の改良に尽力している。

3-2.自社の提供する商品・サービスの強み 必須

見出しを選択 ▼ | B I ① 二二 三三 | △ ▲ ≡ ≡ | □ “” ■■ ↶ ↷

- 品質の高いコーヒー豆

高品質なコーヒー豆のみを扱うことにより、顧客から「香り」「味」に高い評価を得ている。

- 手間暇をかけた焙煎

業務用焙煎機を使い、コーヒーの産地に合わせて温度管理と時間を調節しながら焙煎を行う。
加えて、焙煎前と焙煎後に欠点豆を手で取り除く選別作業を行う。

- 充実した贈答用セット商品

贈答用の箱を10種類(小さいものから大きなものまで)用意しているため、顧客の予算などに応じて、様々な組み合わせが出来る。

4.経営方針・目標と今後のプラン

4-1.経営方針・目標 必須

段落 ▼ | B I ① 二二 三三 | △ ▲ ≡ ≡ | □ “” ■■ ↶ ↷

コロナの影響で自宅での時間が増えて、手間・暇をかけたコーヒーの香味に需要が高まっており、オンライン事業を通してより販路拡大を行う。
併せて店舗にも足を運んでいただき、本物のコーヒーを体験していただきたい。

4-2.今後のプラン 必須

段落 ▼ | B I ① 二二 三三 | △ ▲ ≡ ≡ | □ “” ■■ ↶ ↷

①新規顧客の獲得により売上増を目指す

コロナ禍以前は順調に増加傾向にあったが、2020年4月から非常事態宣言が発令されて以降、店舗事業の顧客数は減少し、売上は大きい月で50%以上減少した。一方で、オンライン事業においては、顧客数及び売上が増加した。いわゆる『巣ごもり』によるものと想定される。

店舗事業、オンライン事業の直近2年間の売上増加率を比較すると、店舗事業105%、オンライン事業190%となっており、オンライン事業による増加率が著しい。売上増の要因は、新規顧客数の増加で、前年比150%となっている。店舗事業においては前年比95%と減少したが、近隣市・町の市場には開拓の余地があると考えられる。

②卸売事業に挑戦し、大都市圏への販路開拓を行う(長期的プラン)

新たな販路開拓に取り組む。具体的には、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県、熊本県、鹿児島県において卸売営業を実施する。コーヒー豆の卸売、オリジナル製品の製造など幅広く取り組む。広告宣伝費、旅費交通費、販売価格のディスカウントなどが発生するため、年間の営業利益は減少するが、長期的な事業拡大を見据えた事業と位置付ける。

戻る

次へ



補助事業計画入力

操作時の注意事項

補助事業計画の記入例をご確認ください

※最大10,000文字程度（＝Wordファイル8枚（文字サイズ10.5、写真・表の挿入あり））としてください。

1.補助事業で行う事業名

1.補助事業で行う事業名(30文字以内で記入すること) 必須

地域広報及びECサイトのリニューアルによる新規顧客獲得事業

2.販路開拓等(生産性向上)の取組内容

2-1.事業の概要 必須

段落 ▼ B I ② 二 三 △ ▲ ≡ ≡ □ “ ” ■ × ↶ ↷

地域広報及びECサイトのリニューアル

2-2.背景・目的 必須

段落 ▼ B I ② 二 三 △ ▲ ≡ ≡ □ “ ” ■ × ↶ ↷

前ページの「経営方針・目標と今後のプラン」に記載した通り、本補助事業の目的は、新規顧客を獲得することである。以下の取り組みを実施することで、新規顧客を獲得する。

2-3.具体的な取組 ?

取組内容(概要) 必須

新聞折り込みチラシの製造と配布(店舗事業)

具体的な取組内容(詳細) 必須

段落 ▼ B I ② 二 三 △ ▲ ≡ ≡ □ “ ” ■ × ↶ ↷

半径2キロ圏内の近隣A市、B市、C町からの新規顧客をターゲットにチラシ〇万部を配布。〇月～〇月に2度配布することで、夏季・秋季ギフトの選択肢になると想定する。また、チラシには、贈答用セット商品や店内で楽しめるメニューなどを記載するとともに、試供品プレゼント(先着〇名)を記載することで、来店きっかけを作る。試供品はコーヒーバッグを準備する予定で、補助対象外で制作する。

折込チラシ作成費	120,000円×2回
折込チラシ配布費	300,000円×2回
合計	840,000円

削除

サイト構成改修費(上記(3)、(4))	120,000円
サイトデザイン改修費(上記(1)、(4))	70,000円
合計	490,000円

削除

取組内容(概要) 必須

インボイス制度の対応に伴う専門家への相談費用

具体的な取組内容(詳細) 必須

段落 ▼ | B | I | ⓧ | 二 | 二 | A | A | 三 | 三 | 图 | “ | ■ | ↪ | ↮ | ↲ | ↳

インボイス制度の導入に伴い、取引先の維持・拡大に向けた取組が必要不可欠となるため、専門家への相談を実施しながら、販路拡大を行っていく。

インボイス制度対応のための相談費用	20,000円
合計	20,000円

削除

追加

販路開拓とあわせて行う業務効率化(生産性向上)の取組はございますか。 必須

- はい
- いいえ

4.補助事業の効果



4-1.取組の効果 必須

*販路開拓等の取組や業務効率化の取組を通じて、どのように生産性向上につながるのかを必ず説明してください。

見出しを選択 ▼ | B | I | ⓧ | 二 | 二 | A | A | 三 | 三 | 图 | “ | ■ | ↪ | ↮ | ↲ | ↳

- 店舗事業における効果

店舗事業において折り込みチラシを配布することにより、顧客数が〇〇人から〇〇人と大幅に上昇すると見込んでいる。補助金効果により増えた新規顧客のうち、固定客となるのは、そのうちおよそ10%と見込む。

- オンライン事業における効果

ECサイトのリニューアルは〇月を予定しており、リニューアル後チラシ配布の効果が出始める〇月に顧客数が大幅に上昇する見込み。リニューアル前の客単価は約3,000円であるが、リニューアルによる利便性向上等により客単価3,500円以上になることを目標とし、補助金効果により増えた新規顧客のうち、固定客となるのは、およそ10%と見込む。

※経営計画・補助事業計画等の作成にあたっては商工会・商工会議所と相談し、助言・指導を受けながら進めてください。

※採択時に、「事業者名」および「補助事業で行う事業名」等が一般公表されます。

4-2.効果の試算 必須

見出しを選択 ▼ | B | I | ⓧ | 二 | 二 | A | A | 三 | 三 | 图 | “ | ■ | ↪ | ↮ | ↲ | ↳

固定客の増加、オンライン事業の客単価の増加が見込め、対企業向けに卸売業も行っていくことから売上高が〇〇円となる見込みです。

事業名	売上高	売上総利益	客単価	顧客数
店舗事業	〇〇円	◇◇円	△△円	xx人
オンライン事業	〇〇円	◇◇円	△△円	xx人
卸売業(長期プラン)	〇〇円	◇◇円	△△円	xx人

戻る

次へ

利用規約/プライバシーポリシー

© 小規模事業者持続化補助金



経費明細表・資金調達方法

[操作時の注意事項](#)経費明細表・資金調達方法の[記入例](#)をご確認ください

経費明細表・資金調達方法

課税区分 必須

※免税事業者・簡易課税事業者・2割特例選択者は、「税込」での計上を選択することができます。

税抜

経費明細表(単位:円) [?](#)

まず「内訳金額追加」ボタンで経費明細を入力してください。
入力した経費明細は「編集」ボタンで修正、「削除」ボタンで削除を行うことができます。
公募要領記載の「補助対象外となる経費」に該当する経費は補助対象になりません。計上されている経費の大半が補助対象外である場合、補助事業の円滑な実施が困難であるとして、不採択・採択取消になりますので、ご注意ください。公募要領([商工会地区](#)・[商工会議所地区](#))

経費区分	内容	経費内訳(単価× 数)	補助対象経費(税 抜)	経費に係る 備考	購入予定 先	不備コメ ント
②広報費	新聞折り込みチラシ印刷費(100,000部×2回)・自社商品の広告のため	120,000円×2回	240,000	○○		
②広報費	新聞折り込みチラシ配布費(100,000部×2回)・自社商品の広告のため	300,000円×2回	600,000	○○		
③ウェブサイト関連費	ECサイト改修費(口コミ機能作成費)・ECサイトの利便性向上のため	300,000円	300,000	△△		
③ウェブサイト関連費	ECサイト改修費(サイト構成改修費)・ECサイトの利便性向上のため	120,000円	120,000	△△		
③ウェブサイト関連費	ECサイト改修費(サイトデザイン改修費)・ECサイトの利便性向上のため	70,000円	70,000	△△		
⑩委託・外注費	インボイス制度対応のための相談費用	10,000円×2時間	20,000	××		

内訳金額追加

入力いただいた経費明細をもとに、各金額が自動計算されます。
(2)補助金交付申請額（ウェブサイト関連費を除く）が入力可能となっている場合は、画面に表示されている範囲で金額を入力いただき、「自動計算」ボタンをクリックいただくと、各金額が計算されます。

(1)補助対象経費小計 (ウェブサイト関連費を除く) (a) 860,000

(b) 573,333

(2)補助金交付申請額 必須 (ウェブサイト関連費を除く)
(a)× 補助率2/3(※)以内(円未満切捨て)

経費明細を修正した場合は必ずクリックしてください。
各金額が再計算されます。

自動計算

(3)ウェブサイト関連費に係る補助金対象経費小計	(c)	490,000
(4)ウェブサイト関連費に係る交付申請額 (f)の1/4を上限(最大50万円)、(c)× 補助率2/3(※)以内(円未満切捨て)	(d)	191,111
(5)補助対象経費合計 [(a)+(c)]	(e)	1,350,000
(6)補助金交付申請額合計	(f)	764,444
(7)補助対象経費合計 - 補助金交付申請額合計	(g)	585,556
(d)の金額が(f)の金額の1/4以内(最大50万円)であるか(「いいえ」の場合は申請できません。)	はい	

資金調達方法



資金調達方法(単位:円) 必須

※金額欄で該当のない箇所は0と入力してください。

区分	金額	資金調達先
1.持続化補助金(※1) ? <「1.補助金」相当額の手当方法>(※3)	764,444	1-1.自己資金 764,444
		1-2.金融機関からの借入金 0
		1-3.その他 0
2.自己資金	585,556	
3.金融機関からの借入金	0	
4.その他	0	
合計額(※2)	1,350,000	

※1 補助金額は、経費明細表(6)補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、経費明細表(5)補助対象経費合計と一致させること。

※3 補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、記入してください。

事務所賃料に関する事項 必須

補助対象経費に事務所賃料が含まれていますか。

- はい
 いいえ

※事業所等に係る家賃は補助対象となりません。ただし、既存の事務所賃料ではなく、新たな販路開拓の取組の一環として新たに事務所を貸借する場合は、対象となる場合があります。

戻る

次へ

利用規約/プライバシーポリシー

© 小規模事業者持続化補助金